

2018年12月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2019年2月1日

在ドミニカ共和国日本大使館

1 内政

(1) 5日、当地プラスチック会社Polyplasの工場で爆発事故が発生、8名以上が死亡、100名以上の負傷者が出た。

(2) 9日、フェルナンデス前大統領は、2020年大統領選に向け150万人以上の支持署名を獲得した旨の式典を実施、大統領に就任した暁にはサントドミンゴと北西部モンテクリスティ県を結ぶ鉄道網を整備すると発表。

(3) 11日、ゲレーロ財務大臣は、2019年にプンタカタリーナ石炭火力発電所の株式を最大50%売却する予定であると発表。

2 外交

(1) 1日、メディーナ大統領がメキシコを訪問しロペス・オブラドール墨新大統領の就任式に出席。

(2) 4日、大統領府は、10日及び11日にモロッコで開催される国連の「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト採択政府間会議」にドミニカ（共）政府からは出席せず、同コンパクトに署名を行わない旨発表。

(3) 10日、イビツァ・ダチッチ・セルビア第一副首相兼外相が当国を訪問、バルガス外相と会談を行い、二国間の経済、学術、査証免除の三件の合意に署名。

(4) 14日、バルガス外相はベリーズを訪問、メディーナ大統領の代理としてSICA首脳会合に出席、気候変動対策等につき協議。

3 経済

(1) 11日、ドミニカ産業協会（AIRD）は、会長の変更を発表。これまでのカンポス・デ・モヤ氏からセルソ・フアン・マランシニ氏が2019-2020年の会長を務める。

(2) 12日、9218億1054万ペソ（約184億3621万ドル）に上る2019年予算法が下院の可決により成立。

(3) 17日、マルティネス・元ドミニカ農産業委員会委員長は、本年のカカオ生産量が8万3000トンを超え、同生産量は世界で8位、オーガニック・カカオの輸出は世界でもトップクラスであると発言。

4 二国間関係

1日付オイ紙は、11月29日に大使公邸にて実施された、クリストバル・マルテ北米

中米カリブ・バレーボール連盟会長に対する外務大臣表彰につき報道。

(別添1) 経済指標

(了)